

令和2年度 第1回聖籠町補助金等評価調査委員会 議事要旨

日時：令和2年7月20日（月）午後3時00分から午後4時05分まで

場所：聖籠町役場3階 大会議室

出席委員：宍戸委員、横山委員、鈴木委員、佐野委員、島村委員、阿部委員

欠席委員：田中委員

事務局：高松副町長、高橋総合政策課長、小林課長補佐、齋藤係長、宮下主任、
横山主事

次 第

- 1 開会
- 2 委員委嘱
- 3 町長あいさつ
- 4 委員および事務局の紹介
- 5 議事
 - (1) 委員長および副委員長選出
 <<諮問>>
 - (2) 会議の公開について
 - (3) 今後のスケジュールについて
- 6 事務連絡
- 7 閉会

議事（1）委員長および副委員長選出

- 互選により、委員長に宍戸邦久委員、副委員長に田中安博委員が選出され承認された。

<<諮問>>

議事（2）会議の公開について

事務局 今後の委員会審議の際に傍聴席を設けて一般に公開するか、非公開にするか伺いたい。

会議は、公正さと透明性の確保、そして開かれた町政の推進の観点から積極的に公開すべきと考えており、全国的にも同様の考えのもとで公開による審議が行われている。

ただ、本委員会の審議については、個別の補助金等のヒアリングも予定されており、この公開により当事者並びに第三者の権利や利益、公共の利益に影響を与える恐れがあること、また、補助金の交付を受けている団体や関係者など、利害関係者が傍聴することで公正、円滑な審議が阻害されることも懸念される。そのため、会議は原則公開とするものの、個別の補助金等の議論の際は非公開とすべきと考えるが、委員会の判断をお願いしたい。

委員長 今ほどの説明を受けて、委員の皆さまからご意見・ご質問はあるか。

(意見・質問なし)

委員長 それでは、当委員会として、事務局提案のとおり、会議は原則的には公開とするが、個別補助金等の議論については、当事者等の権利、利益、公共の利益、そして公正、円滑な審議への影響を考慮し、非公開とする。その判断は委員長に一任するというところでよろしいか。

(一同異議なし)

議事(3) 今後のスケジュールについて

- 事務局から資料No.1「補助金等適正化に関する全体スケジュール」、資料No.2「今後の会議日程について(予定)」説明

委員 新型コロナウイルスの第2波、第3波がきたときに、日程の変更がどのような状況のときに延期するなど、基準はあるか。

総合政策課長 まだ具体的な話は出ていないが、国や県の示す会議自粛の考え方に則って、町としての方針を決め、それに基づき開催の可否を決める。その際は、また皆さんの方に周知を図っていくことになろうかと思う。

委員長 資料No.1を見ると、適正化のための基本方針、および評価基準を定め、令和4年度に反映させるとあるが、スケジュールとしては、第4回まで議論し、その第4回で委員会としての中間答申を町へ提出するというのがまず一つの目標。もう一つは、第5回には評価基準を設定し、その基準でもって第6回からの各課の課長にヒアリングしていくというイメージでよろしいか。

総合政策課長 その通り。

委員長 それでは、来年8月を目途に、審議を進めさせていただく。以上で本日予定されていた議事は終了となるが、折角の機会なので、今後の補助金の審議にも関係してくると思われる今年度の町の財政状況や補助金の状況、そして新型コロナ対策に関する経費について、事務局の方からご説明願いたい。

- 事務局から資料「財政状況の推移と令和2年度予算の状況」等説明

委員長 町の新型コロナウイルス対策がよくわかった。ちなみにこの財源は。

総合政策課長 国の地方創生臨時交付金が1億1千万円、トイレ改修工事とGIGAスクール構想は1/3、2/7と文科省の補助金が入っており、補助裏については補正予算債である。

委員 P1の歳入の減少だが、10年前と比較すると大きく減少している。その主な要因としては何か。

総合政策課長 まず、主なものはH20のリーマンショックの影響。当時は税収も落ち、経済にも影響が広く及んだ。特にH21は経済対策ということで国から交付金がたくさん入った年であり、その交付金等で公共工事を発注したり、定額給付金を交付したりしたため、結果的に突出して歳入歳出決算額が大きくなっている。

委員 新潟東港工業地帯の町税の推移はどうなっているのか。

総合政策課長 P1「歳入に占める町税額」とあるが、町税は新潟東港立地企業からの固定資産税が多くを占めている。リーマンショック後に、設備投資をする企業が減ったことや、収益が減少する企業が増え、町税の減少幅が大きくなっている。その後についても、大きく改善することはなかったが、これは、収益は戻りつつあるが、設備投資をするまでに至らないという企業、もしくは将来への備えとして蓄えている企業が増えているのが要因と推測される。

委員長 企業も、設備投資に回していた資金を内部留保に回したと思われる。

委員 P4のサッカー関連のクラウドファンディングだが、コロナ禍において行政の支援が必要なほど生活が苦しくなっているのか。

総合政策課長 学生は親からの仕送りが止まったり、クラブチームは試合がなくなったりと、かなり厳しいとのこと。町としては食糧支援という形で支援を行い、少しでも生活の足しになればという想いで企画した。実施期間は7月末までの予定。

委員 町の人口動態は。

総合政策課長 人口はほぼ横ばい。宅地造成をやっているところもあるが、そこに入るのは町外者ばかりではない。分家住宅も多いと推測される。

委員長 県内自治体を見ると、減る一方の自治体が多い中で、人口が維持できているというのは聖籠町ならではだと思う。

本日初会合となったわけだが、何か委員の皆さまから最後に言いたいことやお尋ねなど承るが、よろしいか。

なければ、次回から本題に入る。忌憚のないご意見を頂戴していきたい。

(文責：事務局。事後修正する場合があります。)